

テーマを深め 論点を決める

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

論文とは何か？

- 事実やデータに基づいた、自分なりの意見を述べたもの
- × 事実をまとめただけの報告書
- × 個人的な感想文

自分なりの意見を「問い」と「答え」の形にしてみましょう

図書・論文を読んでテーマに関する知識を深め、「問い」を見つけましょう

分野、場所、対象、時間などの、おおよそのテーマが決まったら、卒業論文の最も重要な論点（明らかにしたいこと、問いと答え）を決めていきましょう。

論文とは「事実をまとめた報告書」ではなく、「個人的な意見を述べた感想文」でもありません。

論文には「事実やデータ」に基づいた「オリジナルの、あるいは新しい視点の意見」が必要です。この「意見」をどう設定するかによって、集めるべき事実やデータは変わってきます。

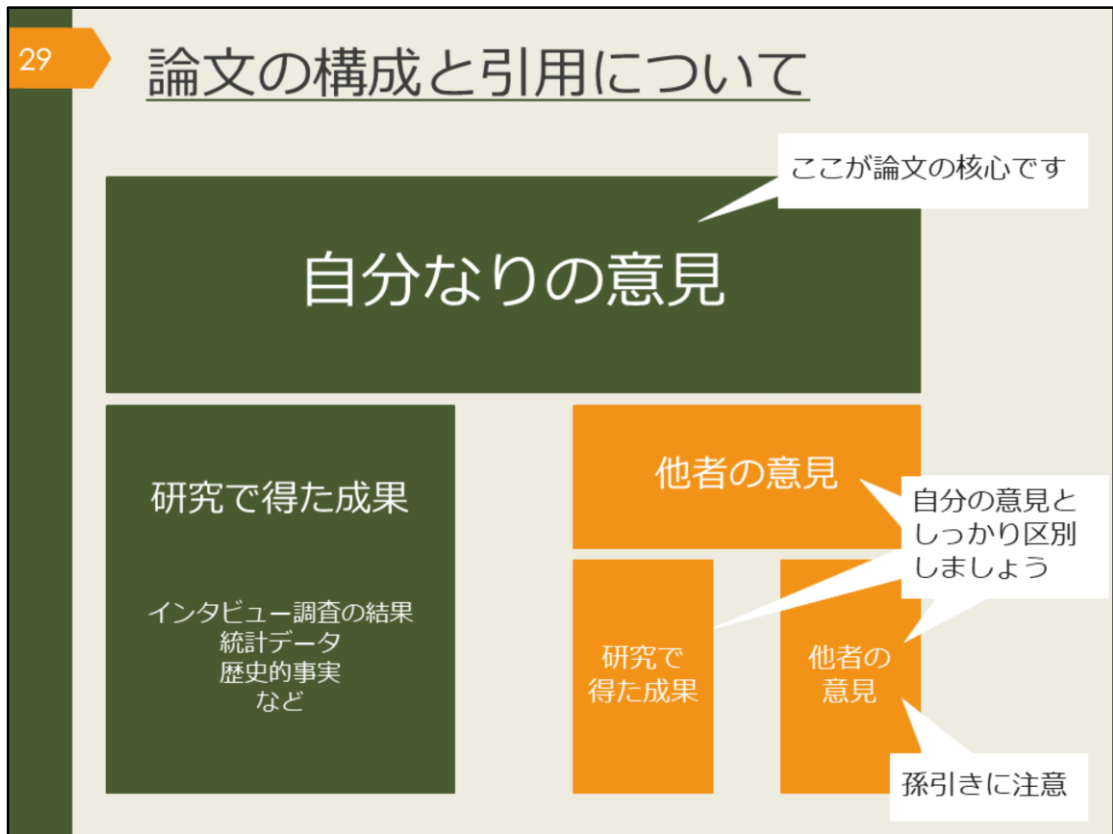
もちろん、事実やデータを集める中で、意見が変わってくる可能性はありますが、初めに、ある程度の見通しを立てることは大事です。

見通しを立てる方法としては、「問いと答え」で考えるのがよいでしょう。テーマの中で、明らかになっていない疑問点を「問い」にして、それに対する自分なりの答えを仮説として定めましょう。これが研究の論点になります。ただ、いきなり論点を決めなさいと言われても、なかなか思いつかないでしょう。疑問に思うことがあっても、それは既に過去の研究で答えが見つかっている内容かもしれません。

卒業論文の論点を決めるには、まず、これまでの研究で明らかになったことを知っておく必要があります。この章では主に、過去の研究成果、先行研究を調べる方法を紹介していきます。

卒業論文では、世紀の大発見をしなければならないわけではありません。過去の研究で明らかになったことについて、対象や範囲を変えて論じ直してみたり、別の視点で捉え直してみたりすることも、新しい知見になるでしょう。常に疑問点を見つけることを意識しながら、先行研究を読んだり、情報収集したりしていきましょう。

論文の構成と引用について



これは、論文の構成を図で示したものです。

自分なりの意見が論文の核心となり、その柱として、自分の研究成果や、他者の意見などがあります。

自分の研究成果がないと単なる感想文になりますし、成果のみ述べるだけなら報告書になります。

また、他者の意見は、自分の意見とはしっかり区別して書かなければいけません。自分の論文で言及する場合は「引用」という形をとりましょう。

引用とは、自分の意見を裏付けたり、説明したりするために出所をはっきりさせて他の人の文章を紹介することです。自分の意見と他者の意見の境界をあいまいにすると「盗用」や「剽窃」という不正行為になります。他者の意見を尊重する姿勢を持ちましょう。

自分の意見と他者の意見が同じ、という場合は、なぜそのような結論に至ったのかを自分の言葉で説明しましょう。自分の独自の研究で得た成果により、他者の意見が更に補強されることになった、というのも立派な研究です。

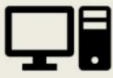
また、孫引きにも注意しましょう。

他者の意見もまた、その人自身の研究成果や、別の人意見に基づいています。他者の論文で引用されている別の人意見、そのまま引用することを「孫引き」と言います。

昔は手書きで論文を引用していたため、単純な写し間違いがあるかもしれませんが、自分の主張にとって都合のよい部分のみを引用するなど、元の論文の意図とは異なっている場合もあるかもしれません。

他者の引用をうのみにせず、できる限り元の論文に当たるようにしましょう。

テーマを深めるための文献検索



論文を読む

- 先行研究から最新の知見が得られる
- 引用文献や論文データベースで調べる



過去の新聞を読む

- 最新情報や、歴史的な変遷を知ることができる
- 新聞データベースで調べる

CINii Articlesという
論文データベースと、
阪大で使える新聞
データベースを紹介
します

テーマに関する知識を深めるにはどうすればよいでしょうか。

引き続き、OPACや引用文献で図書を探すのも有効です。テーマを決めるために色々と調べたことで、最初よりもキーワードが洗練されてきているはずですし、読んだ文献も多いでしょうから、違った視点で図書を見つけられるかもしれません。

ここでは、さらに、最新の知見を得たり、独自の切り口の研究を見つけるために、研究論文を探す方法を紹介します。

その方法の一つがCiNii Articlesなどの論文データベースの検索です。

また、新しい情報やある事柄についての歴史的な変遷を知るために、新聞記事を探す方法もあります。最新のものはネットニュースで見られますが、過去のものは有料のことが多いので、阪大契約の新聞データベースで検索できることを覚えておきましょう。

論文データベースで文献を探す 日本語の論文を探す

▶ CiNii Articlesについて

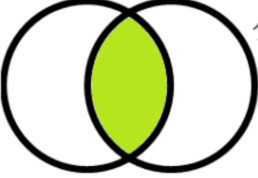
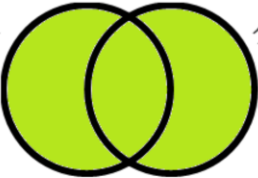
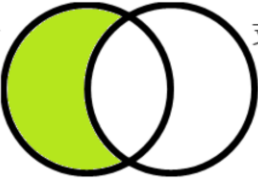
- ▶ 日本語の学術論文を探ることができる
- ▶ 一部の論文はインターネット上で本文を読むことができる



The screenshot shows the CiNii Articles search interface. At the top, the CiNii logo is displayed with the text "日本の論文をさがす Articles". Below the logo, there is a search bar with a "フリーワード" (Free word) input field and a "検索" (Search) button. There are also filters for "すべて" (All) and "本文あり" (Full text available), and a "閉じる" (Close) button. The search criteria section includes fields for "タイトル" (Title), "著者名" (Author name), "著者ID" (Author ID), "著者所属" (Author affiliation), "刊行物名" (Publication name), "ISSN", "巻号ページ" (Volume/Issue/Page), "巻" (Volume), "号(通号)" (Issue/Serial number), and "ページ" (Page).

CiNii Articlesは日本語の論文を探すためのデータベースです。
これまでに集めたキーワードを組み合わせて検索してみましよう。
自分が知りたいことが書かれている論文は、タイトルや論文の要旨にどんな言葉が使われるだろうかと想像しながら検索するのがコツです。

キーワードの組み合わせ

高校		クラブ活動	★高校のクラブ活動について調べたい 「高校 クラブ活動」 どちらも含むものを検索
部活		クラブ活動	★クラブ活動は部活と表記されているかも 「部活 OR クラブ活動」 どちらかを含むものを検索
部活		支部活動	★関係ないものがヒットしてしまう 支部活動に関するものを除きたい 「部活 NOT 支部活動」 NOTの後のキーワードを除いて検索

CiNii Articlesを含むほとんどのデータベースでは、キーワードを組み合わせで検索することができます。

AND検索は、スペースでつないだキーワード全てを含むものを検索します。

阪大OPACやGoogle検索でも皆さんがよく使う方法です。

OR検索は、ORでつないだキーワードのいずれかを含むものを検索します。

検索結果は、AND検索よりも多くなります。

NOT検索は、NOTの直後のキーワードを除いて検索する方法です。

たとえば、漢字とカタカナなどの表記の揺れがあったり、同じ概念の言葉が複数考えられるなど、一つのキーワードでは検索結果が少ない場合はOR検索をした方がよいでしょう。

まったく関係のない言葉で論文がヒットしてしまうなど、検索結果が多い場合はAND検索やNOT検索で検索結果を減らすことを考えてみましょう。

CiNii Articlesのアクセス方法 (学内で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

The screenshot displays the search interface of the Osaka University Library website. At the top, there is a 'クイックサーチ' (Quick Search) section with navigation tabs for '蔵書検索' (Book Search), '電子ジャーナル' (Electronic Journals), '電子ブック' (Electronic Books), 'データベース' (Database), and 'まとめて検索' (Batch Search). The 'データベース' tab is circled in red. Below this, there are three dropdown menus: 'よく使われるタイトル' (Popular Titles), '主題分野から探す' (Search by Subject Area), and '資料タイプから探す' (Search by Document Type). The 'よく使われるタイトル' dropdown is also circled in red, and a blue arrow points from the circled 'データベース' tab to it. A dropdown menu is open under 'よく使われるタイトル', listing various databases: CiNii, Scopus, Web of Science, ProQuest Research Library, 日経テレコン, 知蔵IIビジュアル, 毎日新聞 マイ索, 読売新聞 ヨミダス歴史館, Press Reader, JapanKnowledge Lib, and KOD. To the right, there is a 'CiNii Articles' search box with the tagline '日本の論文をさがす' (Find Japanese articles). Below the search box, there are fields for 'フリーワード' (Free Word) and '検索' (Search), along with filters for 'すべて' (All) and '本文あり' (Full Text Available), and a '詳細検索' (Advanced Search) link.

CiNii Articlesへのアクセス方法は、附属図書館Webサイトから、図のようにしてアクセスできます。

CiNii Articlesのアクセス方法 (自宅で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

English 検索のキーワードを入力

このページの印刷画面を開く

さがす しらべる つかう お知らせ 4 つの図書館 Webサービス

キャンパス外から電子リソースを使う

自宅や出張先など大学の外から大阪大学が契約している電子ジャーナル、電子ブック、データベースがご利用いただけます。キャンパス内からご利用の場合は、図書館トップページの「電子ジャーナル」「データベース」各タブからご利用ください。

電子ジャーナル・電子ブックへのアクセス

データベースへのアクセス

以下のリンクから大阪大学個人IDによる認証を経ることでアクセスすることができます。

- ACM Digital Library
- AnthroSource
- CINAHL Plus
- CiNii Articles
- Cochrane Library
- EconLit
- Eighteenth Century Collect
- ERIC
- Essential Science Indicator
- Financial Times Historical
- Health & Medical Collectio
- House of Commons Parliam
- Index to Legal Periodicals
- International Bibliography
- JapanKnowledge Lib

自宅からCiNii Articlesを検索する場合は、附属図書館Webサイトの「キャンパス外から電子リソースを使う」というページからアクセスしてください。データベースの便利な機能を学内と同じように、自宅でも使えます。CiNii Articlesは無料のデータベースですが、大阪大学と連携して、検索結果から阪大で契約するデータベースにリンクしたり、阪大OPACにリンクするなどの便利な機能をつけています。大学のネットワークであればそのまま使用できますが、自宅から便利な機能を使用するには、この方法でアクセスする必要があります。便利な機能については、あとのスライドで説明します。

CiNii Articles 検索結果一覧画面

論文検索 著者検索 全文検索

イギリス クリケット

検索

すべて 本文あり

タイトル

著者名 著者ID 著者所属

刊行物名

出版者

入力したキーワードが、論文名、著者名、収録雑誌名、抄録のどこかにあれば、検索結果として表示される

論文名 検索結果： 4件中 1-4 を表示

すべて選択： 新しいウィンドウで開く 実行

20件ずつ表示 出版年：新しい順 表示

著者名

抄録 (内容の簡単なまとめ)

掲載誌の情報 (=書誌情報)

本文入手へのナビゲーター

クリケット ピッチを超えた友好：『ラガン』にみる植民地独立後のガンジーの理想とした「インド」

Cross Robert, クロス ロバート

論文(article)アカデミー賞にノミネートされたハリウッド映画『ラガン』(2001)は、19世紀末、植民者のイギリス人と被植民者のインド人との間で行われるクリケットの試合を軸に、ガンジーの理想とした異教徒間の調和を掲げる「インド」が、一人のインド人青年によって建設されていくドラマを描いている。

言語文化 = Doshisha Studies in Language and Culture 11(4), 493-514, 2009-03-10

機関リポジトリ DOI 大阪大学リゾルバ 大阪大学OPAC

イギリス、クリケットというキーワードで検索した、検索結果一覧画面です。検索結果に、論文名、著者名、抄録、掲載誌の情報、本文入手へのナビゲーターが表示されます。

CiNii Articles 検索結果詳細画面

The screenshot shows the detailed view of a search result on CiNii Articles. The page layout includes the following elements:

- Title:** ヤミナ・ベングイの映像作品とテキスト：フランスにおけるマグレブ移民の母たちと娘たち (The Films and Books of Yamina Benguigui : Daughters of Maghrebian Immigrants and their Mothers)
- Author:** 石川 洋子 (Yoko Ishikawa), イシカワ キヨコ (Kiyoko Ishikawa), Kiyoko ISHIEAWA
- Access:** A button labeled "全文テキストへのリンク" (Link to full text) and a "この論文をさがす" (Find this paper) link.
- Abstract:** A section labeled "抄録" (Abstract) containing a summary of the paper's content in both Japanese and English.
- Journal Info:** A section labeled "掲載誌の情報 (=書誌情報)" (Journal information) showing the journal name: 静岡文化芸術大学研究紀要 = Shizuoka University of Art and Culture bulletin.
- Metadata:** A sidebar on the right contains various codes and identifiers such as DOI (12008742711), ISSN (AA1157670), and JPNC (JPN).

こちらは、検索結果一覧のうち、1件の論文をクリックした後の詳細画面です。

画面の上から、論文名、著者名、論文にアクセスするためのリンク、この論文をさがすためのリンク、抄録（しょうろく）、掲載誌の情報、が表示されています。

抄録は、論文の内容を簡単にまとめたものなので、この部分を読んで、本文を読む必要があるかどうか判断することができます。

文献情報

論文名: SNSを利用した外国語学習についての一考察
 著者名: 野崎翔子
 掲載資料: 東京女子大学言語文化研究
 ISSN: 0918-7766
 号: 21

①インターネット上で本文が見られるか

Freely Accessible Japanese Titles でフルテキストを見る GO

Available from 2007 volume: 16
 フリージャーナル / Free Journal

大阪大学の所蔵を確認する

大阪大学蔵書検索 GO ②大阪大学に所蔵されているか

2件みつかりました。

言語文化研究[09187766]

配架場所	所蔵巻次
総合図	1-5 (1992-1995)

東京女子大学言語文化研究[09187766]

配架場所	所蔵巻次
総合図	6-20 (1997-2011)

NDL ONLINE

Osaka U. 大阪大学リゾルバ

学外から文献を取寄せる(学内者限定)

学外からの文献取寄せを申し込む GO ③学外に所蔵があるか (取寄申込みへのリンク)

他大学から文献を取寄せるサービスです(有料)。大

ここで、CiNii Articlesに搭載されている便利な機能を紹介します。
 論文情報の下に表示されている、大阪大学リゾルバのアイコンをクリックすると、

- ・大阪大学が契約するデータベースで、本文が見られるかどうか、
- ・大阪大学で、その論文が掲載された雑誌を所蔵しているかどうか
- ・大阪大学以外で、その論文が掲載された雑誌を所蔵している図書館があるかどうか、それぞれの結果が一覧できます。

阪大で入手できない場合は、「学外からの文献取寄せを申し込む」のリンクから、論文の取り寄せ申込みをすることができます。

引用文献の読み解き方（日本語の論文）

遠藤織枝(2013) 「中国女文字・ハングル・

著者名

CiNii Articles - 日本の論文

年次

論文のタイトル

CiNii Articles - 日本の論文

平仮名：その女性性を中心に 『日本語

雑誌のタイトル

大阪大学OPAC

学』 32(11): 64-79

巻(号)

CiNii Articles - 日本の論文

ページ

では、引用文献の読み解き方、つまり、文献の書誌情報の読み解き方をおさらいしましょう。

書誌情報が分かっている論文を探す場合は、1に論文データベース、2に阪大OPACと覚えておいてください。

日本語論文ならCiNii Articlesを使って、論文のタイトルなどで検索し、ヒットした場合は本文入手または、大阪大学リゾルバで阪大の所蔵状況を確認して、掲載する雑誌を入手しましょう。CiNii Articlesでヒットしない場合は、大阪大学OPACで検索してみましょう。

OPACでは、雑誌のタイトルで検索し、ヒットした場合、所蔵状況を確認して入手しましょう。阪大に所蔵がない場合は、学外から有料で取り寄せる方法があります。附属図書館のWebサービスから申し込むことができます。図書館にも気軽にご相談ください。一緒に他の検索方法を考えたり、取り寄せの方法を詳しく案内します。

引用文献の読み解き方（外国語の論文）



次に、外国語の文献の書誌情報の読み解き方をおさらいしましょう。書誌情報が分かっている外国語の論文を探す場合、検索するデータベースを変えます。

CiNii Articlesでは、外国語の論文は検索できませんので、ProQuestという論文データベースを使います。阪大が契約している有料の論文データベースで、外国語学部の皆さんにぜひ使っていただきたい外国語の論文データベースです。あとのスライドで詳しく説明します。

ProQuestでヒットしない場合は大阪大学OPACで雑誌のタイトルを検索し、阪大の所蔵を確認しましょう。

論文データベースやOPACでヒットしない場合にはGoogleやGoogle Scholarで論文を検索してみてもいいでしょう。本文がそのまま見られる場合もあります。

演習②CiNii Articles検索



- ▶ 授業で演習課題資料を配布された方は、ここで演習②を解いてみましょう

新聞記事を探す 紙の新聞（原紙）を読む

- ▶ 外国学図書館 1階新聞コーナーにある新聞（1年保存）
 - ▶ 朝日新聞
 - ▶ 読売新聞
 - ▶ 毎日新聞
 - ▶ 産経新聞
 - ▶ 日本経済新聞
 - ▶ 人民日報海外版
 - ▶ The Japan Times / International New York Times
- ▶ 上記以外では、[中国](#)、[ミャンマー](#)、[ロシア](#)の過去の新聞を所蔵
- ▶ 図書館Webサイト「[新聞を探す](#)」ページもご参照ください

次は、新聞記事の探し方です。

最新の情報、ある事柄の歴史的な変遷を知るには新聞記事を調べてみましょう。

紙の新聞は、外国学図書館1階新聞コーナーで読むことができます。バックナンバーは、外国学図書館で最近1年分のみ保存しています。それ以前の記事は新聞データベースで探しましょう。

【中国】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_china/

【ミャンマー】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_myanmar/

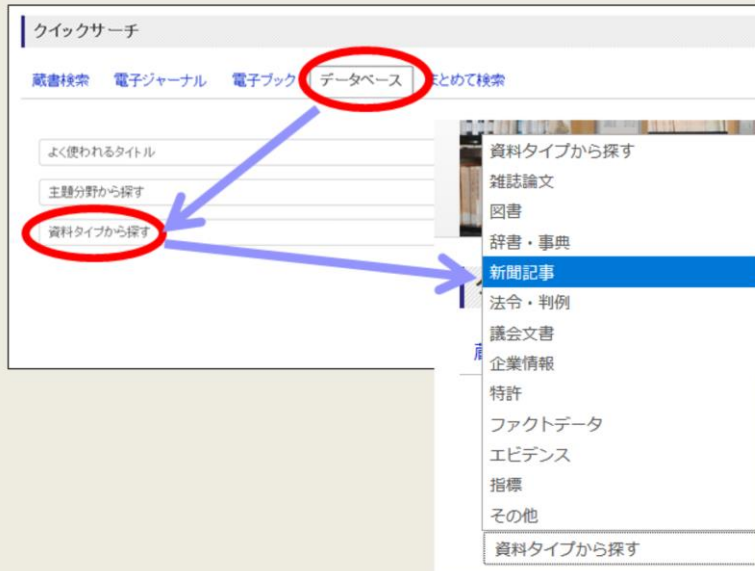
【ロシア】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_russia/

【新聞を探す】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research_newspaper/

大阪大学附属図書館Webサイト



図書館で保管している原紙以外にもデータベースで利用できる新聞がいくつかあります。

附属図書館Webサイトから、図のようにしてアクセスできます。

阪大契約の主な新聞データベース

	誌名	データベース名
日本の新聞	朝日新聞	聞蔵IIビジュアル ※
	読売新聞	読売新聞 ヨミダス歴史館 ※
	毎日新聞	毎日新聞 マイ索 R
	日本経済新聞	日経テレコン21 ※
海外の新聞	人民日報	People's Daily R
	New York Times	New York Times collection R
世界各国の新聞や雑誌を まとめて検索可能		Nexis Uni R
		Press Reader R

Rマークがあるものは、リモートアクセス（学外・自宅からの利用）可能
 ※朝日・読売・日経は一時的な措置によりリモートアクセス可能（2020年5月末まで）

阪大で使える主な新聞データベースを表にしました。収録内容や収録期間、検索対象を確認し、調べたい事柄によって使い分けましょう。

例えば、毎日新聞マイ索では、1872年創刊から1986年までは紙面のPDFイメージが収録されていて、検索対象は大きな事件の記事の見出しのみです。1987年以降は記事をテキストで収録しているため、記事の見出しと記事の全文をキーワードで検索できます。

キーワード検索以外には、日付検索があり、何年何月何日の新聞が読みたい、といった調べ方が可能です。

また、東京本社版や大阪本社版、地方版といった違いでも収録範囲が異なるなど、複雑なので、利用の際には各データベースのヘルプを確認しましょう。毎日新聞に掲載されていたはずなのに見つからない、という場合は、収録期間や検索対象から外れている可能性があります。データベースも万能ではありませんので、使い方には注意が必要です。

なお、Rマークがついているものは、自宅からも利用できるデータベースです。「キャンパス外から電子リソースを使う」ページからアクセスして使いましょう。

朝日、読売、日経新聞は、リモートアクセスが通常不可のところ、2020年5月末日まで利用可能となっています。